

3. 断層モデル等の構築

3.1 事業概要

本事業は、大都市大震災軽減化特別プロジェクトのテーマⅠ「地震動（強い揺れ）の予測」において、サブテーマ1「大深度弾性波探査」やサブテーマ2「大規模ボーリング調査」の成果に基づき、首都圏近畿圏等の活断層やプレート間地震の断層モデルを構築したり、平野の三次元地下構造モデルあるいは表層地盤の分布モデルを構築して、当地に関する地震動予測（長期評価、強震動評価）の精度を向上させることを目的としている。この目的の実現のため、表1に示す7研究課題を設定した。課題1～4は主に研究対象に基づいて設定され、1～3は断層モデルを、4は地下構造モデルを対象にしている。これらに対して課題5～7は主に研究手法に基づいて設定され、それぞれ地震学測地学応用地震学的手法を用いる研究課題になっている。

また、コア機関のうち東京大学地震研究所京都大学防災研究所は国立大学の全国共同利用研究所である。本事業ではこれら機関の共同利用システムを活用して、全国の研究機関研究者を糾合する研究体制を取っている。

表1 サブテーマ3「断層モデル等の構築」における研究課題

	研究課題	研究代表者	研究分担者
1	内陸活断層モデル化の研究	伊藤谷生 (千葉大理)	佐藤比呂志(東大地震研)・宮内崇裕(千葉大理)・池田安隆(東大理)・今泉俊文(山梨大教育人間)・山北聡(宮崎大教育文化)・堤 浩之(京大理)・中田 高(広大文)・島崎邦彦(東大地震研)・岡村 眞(高知大理)
2	プレート間地震モデル化の研究	菊地正幸 (東大地震研)	山中佳子(東大地震研)・鷺谷 威(名大環境)・都司嘉宣(東大地震研)・纈纈一起(東大地震研)・武村雅之・神田克久(鹿島小堀研)・境有紀(筑波大機能工学)
3	動的モデルパラメータの研究	井出 哲 (東大理)	宮武 隆・青地秀雄 ¹ ・安藤亮輔(東大地震研)・呉 長江(東大地震研)・加瀬祐子(産総研)・久田嘉章(工学院大)・東原紘道(東大地震研)・福山英一(防災科技研)・堀川晴央(産総研)・山下輝夫(東大地震研)・吉見雅行(産安研)

¹ 現在、フランス放射能原子力安全研究所 (IRSN)

4	地下構造モデル化の研究	山中浩明 (東工大理)	山田伸之(京大防災研)・古村孝志 (東大地震研)・佐藤浩章・東貞成・ 芝良昭(電力中央研)・早川崇・佐 藤俊明(大崎総研)・翠川三郎(東 工大)・瀧澤一起(東大地震研)・若 松加寿江(東大生産研)・松岡昌志 (防災科技研)・久田嘉章(工学院 大)・中井正一(千葉大工)・菊地正 幸・鷹野 澄(東大地震研)・笹谷 努(北大理)・松波孝治(京大防災 研)・竹中博士(九大理)
5	自然地震制御震源を用いた内陸活 断層の深部モデルと地殻内三次元 構造モデルの構築に関する研究	西上欽也 (京大防災研)	澁谷拓郎・片尾 浩・伊藤 潔・大 見士朗・赤松純平・中村佳重郎(京 大防災研)・駒澤正夫(産総研)・西 村敬一(岡山理科大)
6	断層の準静的モデルの構築と歪蓄 積過程に関する研究	橋本 学 (京大防災研)	田部井隆雄(高知大理)・大谷文夫・ 佐藤一敏(京大防災研)・加藤照之・ 金紅林(東大地震研)・平原和朗(名 大環境)・兵藤守(名大理)・川崎一 朗・飯尾能久(京大防災研)
7	強震動予測高精度化のための震源 モデル堆積盆地構造モデルの構築 に関する研究	岩田知孝 (京大防災研)	岩田知孝・入倉孝次郎(京大防災 研)・亀 伸樹(九大理)・James Mori・小林秀樹(京大防災研)・泉 谷恭男(信州大工)・笹谷 努(北 大理)・森川信之(防災科技研)・笥 楽磨(神戸大理)・川瀬 博・松尾 秀典(九大人間環境)・釜江克宏・ 川辺秀憲(京大原子炉実験所)・堀 家正則(大阪工大)・長 郁夫・鶴来 雅人・香川敬生(地域地盤研)